

「津島文化の会」 寄贈資料展

～津島市立図書館へ寄贈いただいた昔の資料～

平成28年(2016)10月、海部津島の方々が中心となって結成した「津島文化の会」から、当館に江戸～明治の和書・漢籍を寄贈いただきました。内訳として、頼山陽の和書・唄本・謡曲本・浄瑠璃・史書・経書など、**全143種(335冊)**にのぼります。

今回寄贈いただいた資料の一部を展示します。



『源氏物語画帖』(伝住吉如慶筆)



巴座大入袋・表裏(大正元年)



浄瑠璃本 市村座

佐藤牧山（楚材）の著作

～祖父江町の偉大な漢学者、尾張藩最後の藩校督学～

今回の寄贈資料の中には、江戸後期から明治にかけて活躍した漢学者**佐藤牧山**（稲沢市祖父江町山崎出身：1801-1891）の著作があります。牧山は尾張藩の藩校である**明倫堂**で督学を務めるほど、漢学に精通していました。

寄贈いただいた中に『**牧山楼詩鈔**』、『**牧山遺稿**』、『**清朝史略**』、『**日本政記摘注**』があります。

とりわけ**佐藤楚材**（モンゴル帝国の宰相・耶律楚材に因む）の名で著わした『**清朝史略**』は、朝鮮を巡って日清関係が悪化する中で編纂しており（1881年：明治14年：清光緒7年）、各方面から大いに関心を集めたといえます。



佐藤牧山碑 稲沢市祖父江町

頼山陽（らいさんよう）の著作

～江戸時代を代表する漢学者～

頼山陽（広島県竹原市出身：1780～1832）は、江戸時代後期の日本を代表する漢学者で、歴史・文学・美術などのさまざまな分野で活躍しました。

寄贈いただいた中に頼山陽の著作は8点あり、そのうち『**日本政記**』、『**清百家絶句**』、『**山陽詩鈔**』の3点は存命中に出版されたものです。

なお、山陽の代表作である『**日本外史**』（**武家の歴史書：平安後期～江戸時代**）は、幕末から明治初期の人々に大きな影響を与えたことで知られています。今回、明治14年版、明治32年版、明治33年版の『日本外史』を寄贈いただきました。



頼山陽（頼襄）

『源氏物語画帖』 全54作

～紀州徳川家伝来 伝・住吉如慶筆～

源氏物語画帖とは、『源氏物語』の各巻54帖を絵画化（源氏絵）したものです。こうした源氏絵は古典的教養の証しとして平安末頃から普及し始め、巨匠の手によって数多くの名品が描かれました。

今回寄贈いただいた源氏物語画帖（複製：現物は個人蔵）は、江戸前期の大和絵の絵師・**住吉如慶**（1599-1670）の筆によるものと伝えられ、**紀州徳川家**が代々所有していました。

なお、住吉如慶は**南海坊天海**の推挙で日光の「東照宮縁起絵巻」を描き、**幕府の御用絵師**に登用されたほどの人物です。貴族文化の絢爛たる情景（全54作）をどうぞご鑑賞ください。



『源氏物語』を著わした紫式部



100
100

100
100

100
100

100
100

100
100

100
100